

未来を築くユース会議 2018～社会を読み解き 未来を創る！メディア・リテラシーを磨こう！～

第2回 グローカル人財と情報

- 日 時：2018年9月8日（火）10時40分～16時30分
- 場 所：あいち国際プラザアイリスルーム
- 参加者：8人
- ファシリテーター：伊沢令子（NIED・国際理解教育センター）、記録：川合眞二（同左）
- 全体（全4回）のねらい
 - ① 他者、社会、世界を理解するための「情報」は、どう集め、どう読み解くことが必要かをふりかえる。
 - ② 地域社会と地球社会を俯瞰し、情報を多角的に読み解き、社会の現状と課題を確認し共有する。
 - ③ 地域と世界をつなぐグローバルな視点でよりよい未来のビジョンを描き、実現に必要なことを見出す。
- 第2回のねらい
 - ◇ 物事に対する自分の認識や価値観は何によって作られるのか、情報とイメージの関係を探る。
 - ◇ ポスト・トゥルース、フェイクニュース、ヘイト・スピーチなど、操作された情報の影響を共有する。
 - ◇ メディア・リテラシーとは何かを理解し、情報を多角的に読み解き、真偽を判断する方法を考える。

- プログラム

1. 第1回のふりかえりと第2回の内容の確認 10:40-[6]
2. メディア・リテラシーで自己紹介 10:46-[19]
3. フェイクニュースの事例 11:05-[5]
4. あなたも写真家 11:10-[12]
5. ニュースの切り取られ方 11:32-[16]
6. バーンガ 11:48-[36]
7. 午前中のふりかえり 12:24-[6]
お昼休憩 12:30-[60]
8. 世の中に溢れる賛否両論 13:35-[40]
9. 4つのコーナー机上バージョン 14:15-[25]
10. シリア難民の話 14:40-[24]
小休憩 15:04-[31]
11. 今の社会を読み解くキーワードの確認とそのことによる影響 15:35-[20]
12. メディア・リテラシーを持つために 15:55-[29]
13. 全体ふりかえり 16:24-[6]

1. 第1回のふりかえりと第2回の内容の確認 10:40 - [6]

- 第1回記録の確認...各自、第1回記録を読んで行った内容について確認した。
- 第2回のねらいの説明...レジュメを基に、第2回のねらいとプログラムについて説明した。

2. メディア・リテラシーで自己紹介 10:46 - [19]

- 自己紹介の準備・実施...各自 A4 用紙に、次のニュースに関する4つのことを書いた。グループ内で一言自己紹介「私は何者か」とともに4つのことを紹介しあった。1人1分30秒で。
 - ① ニュースを得ている媒体
 - ② マジ?本当?と思ったニュース
 - ③ 自分が信頼しているニュースソース
 - ④ 最近すごく気になっているニュース



3. フェイクニュースの事例 11:05 - [5]

- ファシリテーターからのコメント...地震、災害の時にフェイクニュース（嘘）が流される傾向がある。そのほか政治利用、商品販売、善意からの拡散がある。
- フェイクニュースの事例紹介...レジュメの裏に記載したフェイクニュースの事例から次のことを紹介した。
 - ・「ローマ法王がトランプ氏の支持を表明した」
 - ・「クリントン氏は過激派組織 IS に武器を売っていた」
 - ・「おいふざけんな、地震のせいであちの近くの動物園からライオン放たれたんだが 熊本」
- フェイクニュースに関する調査結果の紹介...朝日新聞が調査したアンケート結果から次のことを紹介した。

Q フェイクニュースの何が問題だと思いますか？

1位:情報の真偽がわからなくなる / 2位:ニュースが信頼できなくなる / 3位:選挙等の民意が歪められる

Q フェイクニュースに対処するには、どうしたらいいと思いますか？

1位:利用者へのリテラシー教育 / 2位:メディアなどによるファクトチェック / 3位:政府による規制

4. あなたも写真家 11:10 - [12]

- 部分写真からの想像...1人に1枚配られたシート「あなたも写真家（実際の写真の一部を切り取ったもの）」に映っているものから残りの部分を類推し、白紙の部分を描き足し、タイトルをつけた。
- 想像したことの共有...グループ内で、次のことを紹介しあった。
 - ① 写真の1部分から受ける印象
 - ② 白い部分には何が写っているか？
 - ③ 自分の作った絵につけたキャプション



- 実際の写真の確認と振り返り…ファシリテーターが、それぞれの元写真を貼りだし、各自が切り取られた写真からイメージして書かれたイラストと比較し解説した。このワークを通して気づいたことをグループ内で紹介しあった。
- ファシリテーターからのコメント…事実は1つでも、切り取り方で私たちが受けるイメージが異なる。

5. ニュースの切り取られ方 11:32 – [16]

- ニュース写真の見出し検討…トランプ大統領の就任式の写真を見て、新聞の載せた時の見出しを考え、グループ内で紹介しあった。
- ニュース写真の趣旨説明…「トランプ氏歴史的な大圧勝」という見出しだったが、スピーチに集まった群衆の写真の撮り方が大勢に見える写真を使ったり、他の多くの群衆が集まった写真を使ったりした。ここからフェイクニュースという言葉が広がった。そのことを指摘すると、「オルタナティブ・ファクトだ」と言い張った。
- 5枚のニュース写真の比較…先の先進国首脳会議G7でトランプ大統領と他の首脳と対立している場面を写した5枚の写真を見て、アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、日本のどの国のニュースで出された写真が考えた。
- ニュース写真の趣旨説明…どの国の政府も自国の印象が良くなるような写真を配信している。G7で日本は蚊帳の外で安倍首相が隣の部屋のソファで寝ている写真もあるが、これはコラージュによるデマ情報だった。



6. バーンガ 11:48 – [36]

- バーンガというゲーム体験…「ページワン」というゲームが基本であるが、グループごとに少しずつルールが異なり、1ゲーム終わる度に、グループ内の1位と最下位がグループを移動することで、ルールの違うメンバーでゲームを行う時に何が起こるか体験するゲームを行った。なお、ゲームは無言で行うため、ルールの確認ができない状態にある。3ゲーム行った。
- 感想の共有…各グループから2名ずつ体験してみた感想を全体で発表した。出された意見は次のとおりであった。

- ◇ 優先するマークのルールが違ったが、他の2人の多数派の考えに従っていった。
- ◇ 最終的に3つのルールがあるグループになったが、意見の強い人のルールに従っていった。
- ◇ 2回目は記憶していたルールと違ったがまあそういうものかと思ってやったが、3回目は1回目と同じルールの人が入ってきたので、やっぱりおかしいと感じながら行った。でも紙もなく主張することができず、そのまま流されてやった方が楽かなと思った。
- ◇ 自分だけ違うルールで、自分が勝ったと思ったのに、他の2人の圧に負けてカードをあげた。
- ◇ ずっとそこにいる人の意見が強かった。郷に入れば郷に従えという気持ちだった。

- **ゲームのねらいの説明**…古典的なゲーム「バーンガ」のねらいについて次のとおり説明した。
 - ① 文化や習慣の違う人が固定観念や自分の文化の価値観のみで相手を拒絶したり、互いに衝突したりしてしまう状態を疑似体験する。
 - ② ルールが違うグループの人がゲームをする中で異文化と接触した時の不安や対立、自己主張と他者理解がどのように起こるかを体験する。
 - ③ 対立状態からの脱出と新しいルールを作っていく過程を経験する。
 - ④ マイノリティー（社会的少数者）の立場を経験する。
 - ⑤ 異なる立場の人々の気持ちや考え方を尊重できるようになる。
 - ⑥ 「絶対的な正しい文化はない」ことと「文化的優劣はない」ことに気づく。
- **関連資料の読解**…配付資料「戦争プロパガンダに学ぶ」を各自読んだ。

7. 午前中のふりかえり 12:24- [6]

- **振り返り共有**…午前中のワークをふりかえり、気づいたこと、感じたことをグループで紹介しあった。

★ お昼休み 12:30-[60]

8. 世の中に溢れる賛否両論 13:30- [45]

- **子宮頸がんワクチン接種への賛否**…子宮頸がんワクチンについての賛成意見を書いたシートを2人、反対意見を書いたシートを2人が読んだ。その後、ワクチン接種への賛成か反対と、その理由を聞いた。

<結果> ワクチン賛成1人、反対3人。賛成の1人は賛成意見が書かれたシートを読んだ人、反対のうち2人が反対意見が書かれたシートを読んだ人だった。反対のうち1人は賛成意見が書かれたシートを読んだ人だったが、シートの中身に「感染のリスクはなくなる」と言い切っているところに怪しさを感じて反対とした。
- **ファシリテーターからのコメント**…賛否どちらか一方の意見のみを鵜呑みにするのではなく、賛否両論知ることによって自分が自分なりの判断が持てるようになれるとよい。
- **死刑制度への賛否ディベート**…死刑制度について賛成意見を書いたシートを2人、反対意見を書いたシートを2人が読み、それぞれ賛成反対の立場で簡単なディベートを5分間行った。
- **秋葉原無差別殺傷事件の背景資料の確認**…各自、秋葉原無差別殺傷事件の犯行の経緯が書かれたシートを読んだ。続いて、犯人の生い立ちや事件を起こすに至った背景が書かれたシートを読み、どんな気持ちの変化があったか紹介しあった。

<結果> ・普通の人、身近な人だと感じた。
・人と話すのが苦手な人で身近にいる人とコミュニケーションを取ることができず、そのはげ口として掲示板に行ったことが哀しい。身近に話せる人がいれば結果が変わったのではないかと感じた。



9. 4つのコーナー机上バージョン 14:15- [25]

- YES・NO回答…ファシリテーター出す次の正解のない質問に対する答えを「はい」「どちらかといえばはい」「どちらかといえはいえ」「いいえ」から選んで、それが書かれた付せん紙をテーブルの中央に出し、簡単にその理由を紹介しあった。

<設問および結果> ※ 数字は「はい系」:「いいえ系」

- ① 犬より猫が好き 3:1
- ② いじめ自殺はなくなる 4:0
- ③ 原発再稼働に賛成だ 1:3
- ④ 経済発展と環境保全は両立できると思う 4:0
- ⑤ スポーツを楽しまない人は人生の半分を損していると思う 0:4
- ⑥ 世界を平和にすることは可能だ 1:3
- ⑦ 目玉焼きには醤油だ 0:4

- ファシリテーターからのコメント…好みの問題は意見が違っていても「へえそう〜」と受け流すことができる。意見が違っていても理由を聞いてみたら納得できることもある。自分とは違う考えが間違いではない。そこを勘違いすると、ヘイトが始まる。



10. シリア難民の話 14:40- [24]

- 1枚の女の子の写真へのキャプション付け…シリアの難民となった女の子の写真(セイブ・ザ・チルドレン提供)を使って、支援する立場でどんなキャプションを付けるかペアで考え、写真の余白に書き込んだ。

<結果> ・「昨日までは」は貴方と同じ生活。
・あなたが救う消えかけの命

- 同写真を使ったヘイトイラストの思想分析…この写真をモチーフに難民に対して悪意のある人が作ったポスターを見て、書いた人がどんな思想であるかをペアで話し合い、A4用紙に書き出した。

<結果> ・難民は辛いものではなく余裕がある ・ネタのつもり ・外国人排斥の立場
・支援ということそのものに反対 ・作成者の身の上にひどいことがある
・難民が生まれた背景をきちんと理解していない
・センシショナルな表現で難民問題を考えてもらおうとしている?

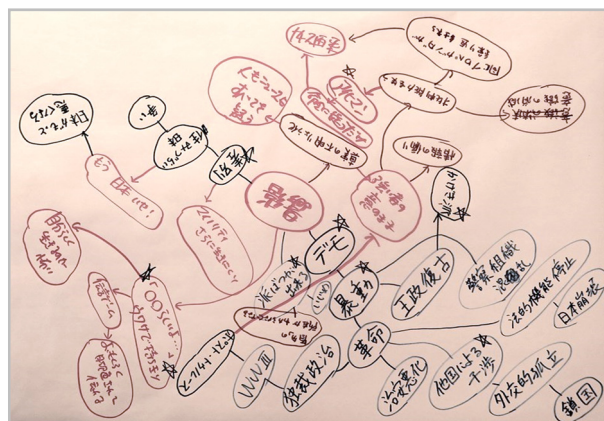
- ヘイトイラストに対する動きの確認…ヘイトを許さない立場でカウンターとして作成したEUのポスターとコラムを確認した。最後にこれらの経緯をニュースにした新聞記事『「人種差別」世界が非難、シリア難民中傷イラスト、日本人漫画家がフェイスブック投稿』を確認した。



★ 小休憩 15:04-[31]

11. 今の社会を読み解くキーワードの確認とそのことによる影響 15:35 - [20]

- キーワードを説明する解説の輪読…配付資料に書かれた「ポスト・トゥルース (脱・真実)」「フェイクニュース (虚偽報道)」「ヘイトスピーチ (憎悪表現)」の解説を輪読して確認した。
- これらを放置することの社会への影響…これらのことを社会の中で野放しにしたり、知らずに信じたりする人が増えたら社会にどんな影響があるか考え、模造紙に派生的に書き出した。



12. メディア・リテラシーを持つために 15:55 - [29]

- アイデア出しと分類整理…各自「メディアに流されず、事実を見分けるのに役立つこと・大切だと思うこと」を考え、1項目1枚を使って付せん紙に書き、グループ内でカード式整理法 (KJ法) にて分類・整理した。

＜カード式整理法 (KJ法) の進め方＞

- ① 1人が付せん紙に書いたことを読み上げ模造紙に貼る。
- ② 同じようなことを書いた人は、並べて貼る。
- ③ 以降、順に読み上げ、同様に並べて貼る作業を全員の付せん紙がなくなるまで行う。
- ④ 同じような付せん紙を線で括り、タイトルを書く。

＜まとめるうえでのポイント＞

- ◇ 付せん紙に書いたことを説明しない。質問はOK。
- ◇ 何でも一緒にしない。8～10カテゴリーにする。
- ◇ 1人が一気に出してしまわない。順番に出し合う。
- ◇ 1人で黙々とせず、グループ協力して行う。



13. 全体ふりかえり 16:24 - [6]

- 感想の共有…一日を通して感じたこと、気づいたことを全体で発表・共有した。
 - ◇ ツイッターをやっているが、情報の扱い方について考えることができてよかった。
 - ◇ 少人数だからこそ濃い話し合いができた。ツイッターで流れる情報で誹謗中傷を見かけるので、自分がかたうしないように気をつけたい。
 - ◇ みなさんと仲良くなれた。学校では似た人が集まっているので、多様な人の意見を聞いてよかった。もっと勉強しなきゃと思った。
 - ◇ 「一人でしたら孤独感。二人でしたら劣等感。三人でしたら疎外感。」ではなく今日は「一人でしたら充実感。二人でしたら安心感。三人でしたら連帯感。」だったのではないかと。
- 終わりのあいさつ…主催者が終わりのあいさつをして、終了した。

★16:30 終了 お疲れ様でした！！